

委員長 佐々木 弘二

今年度ワンステップ研修委員会では委員会方針として『人間力の向上』をめざし、一年間活動してきました。この「人間力」とは一步前にでる勇気と自信です。委員会名の「ワンステップ」もこの「一步前」からとった言葉です。

まず 3 月に科学警察研究所、犯罪行動科学部 研究員 雨宮 護氏を講師に迎え「犯罪予防からまちづくりへ 子どもの被害防止から考える」と題してご講演頂き、まちづくり団体として現状の浦安市における犯罪状況の把握をし、また一般的に公表されている統計数字と実態の差異がある事を学び、実態を正確に捉えた動きこそが大切で、数字や情報のみに惑わされず、行動することの重要性を学ばせていただきました。

10 月例会においては、教育界で一石を投じた、初の民間人校長 藤原 和博氏に「ワンステップを踏み出そう～地域の子供達に見せるべき背中～」と題しご講演頂き、教育面から見た大人のあるべき姿、子どもとの関わりあいなど実体験をもとにお話頂きました。また地域の子供達の成長は学校だけの責任ではなく、地域も密接に関わる大切さを学び、改めて JC として地域との関わりの必然性を確認し、まちづくり団体として勇気と自信をいただけた例会でした。

各例会の成功をめざし、委員会メンバー一丸となって取り組んでいたのではないかと感じています。ただ、委員会を振り返ると反省すべき点も多々あります。特に例会に対して委員会としての方向性が多少ずれてしまったこともありました。それは例会の運営面や事前準備ばかりに気をとられ、本来の開催主旨にあった議論を深く掘り下げることが出来なかったことが原因ではないかと思えます。当日の運営面は滞りなく円滑に進めることは当然ですが、なにより例会で何を訴え、参加者の心の琴線にいかにつれるかが大切であったと痛感致しました。

あらためて事業方針、委員会方針、開催主旨の重要性にも気づかせていただきました。もちろん変化に自在に対応する柔軟性は必要ですが、基本に立ち返る事により軌道修正を行い、もっともっと議論を重ねるなど、会議体で組織されている JC だからこそやれる事、すべき事であったと感じています。この経験を今後の JC 活動のみならず、社会生活においても活かしていきたいと思えます。一年間ありがとうございました。